



YAMA NO
FUTOKORO

01

農業と地域活動。
どつちもやるから、
未来が見える。

幸松 伝司
デンデン農園



「デンデン農園」を営む幸松さんは、退職を機に専業農家へ。きっかけは、生まれ育った伊万里市川内野地区の未来を守るため。人口減少、高齢化が進む地域の交流人口を増やすべく、イルミネーションや音楽祭、子どもたちへの課外授業、修学旅行生の受け入れなどの地域活動を積極的に行います。農業の主力商品は栄養価の高い黒米とプチヴェール。健康という付加価値のある商品は、中山間地域で少量の栽培ながらもしっかりと利益につながっています。

農業

地域活動

中山間地域の魅力

伊万里市・川内野は周囲を山々に囲まれた標高約200mの中山間地域。幸松伝司さんは「川内野の田んぼを未来に伝える」という言葉のもと、農業と地域活動に励みます。「最初はおいしい米をつくる村おこしグループを立ち上げました。一生懸命にやっていると、賛同して協力してくれる人が増えていきました」と話す幸松さんが行う活動は、たくさんの人を巻き込んでいます。黒米を用いた加工品の製造は、企業と共に。地域イベントは地元の人と、そして地元以外の人と共に。協働しながら明るい地域の未来を実現させます。



取組

◎取組 1

黒米、プチヴェール、白ナスなど珍しく付加価値の高い作物を生産しています。一年を通して収穫があり、直売所の販売をはじめ、加工品での販売で収益を上げます。その他、棚田を活かした景観作物の栽培にも力を入れているそうです。



◎取組 2

田んぼコンサートや猪の侵入を防ぐ柵を活用したイルミネーション、子どもたちへの課外授業、修学旅行など、地域の活性化につながる交流人口を増やす活動を行なっています。地域住民との絆を大切に、力を合わせて地域を守っています。



活用した補助事業

- さが農村ビジネスサポート事業(県単)(平成29年度)
【主な取組】商品開発委託、商品リーフレット・シール・ラベル・包装用バック作成等
- さが農村ビジネス支援事業(県単)(令和元、3、4年度)
【主な取組】商品開発、パッケージ・リーフレット・ロゴデザイン作成等

今後のチャレンジ



良い状態で、次の世代へ。

農家の高齢化が進む川内野地区では、市街地にある直売所への出荷が困難になっています。幸松さんは地域おこし協力隊とタッグを組み、共同出荷をスタート。その他にも、挑戦したいことは多々あるそう。後継者や次の世代へのバトンタッチも視野に入れていきます。

年間のスケジュール

